




## 有機農業とおかやま有機無農薬農産物の位置付け

区分	内容	特徴	注意点
有機農業をする (=環境にやさしい農業)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証費用：不要</li> <li>・農薬を使わない生産を行えば「農薬：栽培期間中不使用」等の表示は可能(詳しくは、「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」参照)。</li> <li>・(条件が合えば)環境保全型農業直接支払交付金等の対象</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「有機農産物」表示：不可(※)</li> <li>・「有機JASマーク」貼付：不可</li> <li>・「無農薬」の文字：使用できない</li> </ul> <p>付加価値が伝わりにくい</p> <p>※違反すれば罰則があります。</p>
有機JAS認証をとる	有機JAS農産物 「有機農産物の日本農林規格」に定める生産方法に準拠した農業を行う + 「日本農林規格等に関する法律(JAS法)」に基づき、登録認証機関の認証をとる	「有機農産物」表示 「有機JASマーク」貼付  ↓ 付加価値(=有機栽培)がわかる ↓ 消費者等から信頼される(=買ってもらいやすくなる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証と費用：必要</li> <li>・生産記録(記帳)：必要</li> <li>・転換期間：必要(水稲、野菜2年、果樹3年)</li> <li>・「無農薬」の文字：使用できない</li> </ul>
おかやま有機の認証をとる	おかやま有機無農薬農産物 「おかやま有機無農薬農産物」の生産方法に準拠した農業を行う + 「日本農林規格等に関する法律(JAS法)」に基づき、岡山県農業開発研究所の認証をとる	「有機農産物」の表示 「有機JASマーク」貼付  + 「おかやま有機無農薬認証農産物」表示 「おかやま有機マーク」貼付  ↓ 付加価値(=有機無農薬栽培)がわかる ↓ 消費者等から、より一層信頼される(=より一層買ってもらいやすくなる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認証と費用：必要</li> <li>・生産記録(記帳)：必要</li> <li>・転換期間：必要(水稲、野菜2年、果樹3年)</li> </ul>



昭和から平成、令和まで

# ONLY ONE

オンリーワン



# おかやま有機無農薬農産物 認証スケジュール



## おかやま有機無農薬農産物 Q & A コーナー

### Q1 生産状況はどうですか？

令和6年1月現在、岡山県内で84名(33団体・個人)が61haで、主に水稲や野菜を栽培しています。

### Q2 どのようなものを作っていますか？

水稲(品種)は「朝日」や「アケボノ」「コンヒカリ」等。野菜は、トマト、なす、ズッキーニ等の果菜類、こまつな、ほうれんそう等の葉菜類、にんじん、サツマイモ等根菜類が多いようです。果樹では、ぶどう(加工用)、もも、ブルーベリーを栽培しています。

### Q3 どのように出荷(販売)していますか？

野菜では少量多品目栽培が多いため、農協や市場を經由して販売されるものは多くありません。このため、おかやま有機無農薬農産物取扱指定店(注)への持ち込み、有機農産物の集配業者の活用、消費者への直接販売等により、出荷しています。



取扱店の看板

(注)おかやま有機無農薬農産物を販売(提供)する店舗として県が指定した約80のスーパーや専門店、飲食店等。店舗には県から看板等の貸し出しを行っています。

### Q4 栽培技術は、どのように習得できますか？

まずは、おかやま有機無農薬農産物の「先進地研修会」や「産地見学会(バスツアー)」に参加し、有機農家の方などから、栽培や経営に関する話を聞くことをおすすめします。また、各地域の農業普及指導センターでは、基本的な栽培技術の指導を行っています。

### Q5 新規に有機農業で就農するのですが、支援はありますか？

年に数回、就農相談会に有機農業の相談窓口を設置し、新規に有機農業で就農を目指す方への相談対応を行っています。また、入門研修会では、基本的な栽培技術や認証制度等について説明をしています。新規に認証を取得される方の認証手数料の支援や規模拡大を目指すための機械等導入を補助する事業もあります。

### Q6 有機(無農薬)農業は儲かりますか？

有機農産物の生産には、高い技術力や多くの労力が必要となることから、それらに見合った付加価値をつけた販売がポイントになります。食に対する消費者の安全・安心指向の高まりから取り扱いたいと考えている実需者(スーパーやレストラン等)もあり、経営安定には、実需者とのマッチング(販売先の確保)がとても重要です。

## 「おかやま有機無農薬」農産物の位置付け

より化学肥料や農薬の使用量が少なくなります



**「おかやま有機無農薬」**農産物は化学肥料や農薬(天敵を除く。)を使わないため、環境に優しく、国の有機JAS認証を得た上で、より厳しい、岡山県独自の基準で認証している**「オンリーワンの農産物」**です。

マークの説明

化学肥料や農薬(天敵を除く。)を使用していない「おかやま有機無農薬農産物」のマーク



国の有機JAS規格を満たす農産物のマーク(有機JASマーク)



### 岡山県農林水産部農産課 安全農業推進班

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6  
TEL 086-226-7422



岡山県農林水産部農産課 検索

### 一般社団法人 岡山県農業開発研究所 (登録認証機関)

〒701-2221 岡山県赤磐市大苅田798-3  
TEL 086-957-2000



岡山県農業開発研究所 検索





# 「おかやま有機無農薬農産物」 認証に向けたスケジュール

## Step 1 とりたい (興味がある)

- ① 一般社団法人 岡山県農業開発研究所に「相談」します  
(使用できる肥料や資材を確認してください) (注)
- ② 栽培する「ほ場」を決めます
- ③ 栽培の「記録」を付けます  
(様式は農業開発研究所のHPからダウンロードできます)
- ④ できるだけ多くの「研修」に参加します  
(生産者の話を聞きます)

【注】  
栽培技術については、各地域の農業普及指導センターへ、ご相談ください。



① 岡山県農業開発研究所に相談します



② ほ場を決めます

1. 生産方法の基準 (確認項目は、付録1参照)		(1) ほ場条件: 適・不適		(2) 灌がい用水:	
		(5) 有害植物の防除: 適・不適		(6) 輸送:	
2. 管理記録 (作物名)		栽培面積	自家製堆肥	全ての原材料	
				製造方法	
		生産行程			
年	作業内容	使用種苗・資材	名称	数量	入手先又は
月/日					

③ 栽培記録を付けます



④ 研修会に参加します

## Step 2 とる (決意する)

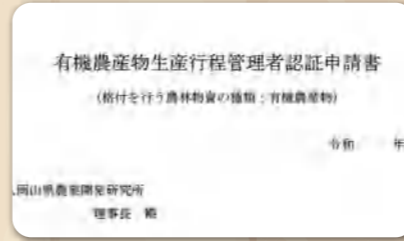
- ⑤ 「有機JAS講習」(注1)を受けます (有料)
- ⑥ 申請書を作成し「申請」します (手数料を支払います) (注2)
- ⑦ 「検査」を受けます → 合格

【注1】  
有機JAS講習の受講は必須 (例年12月頃)。費用6,000円程度。

【注2】  
令和5年度基本料金 (対象ほ場3筆まで) 31,500円 (翌年度以降26,500円)。



⑤ 有機JAS講習を受講します



⑥ 申請します (手数料を支払います)



⑦ 検査を受けます



⑧ おかやま有機無農薬農産物として出荷できます

## Step 3 認証の取得

転換期間 (水稲、野菜2年以上) が経過する (注)

【注】  
果樹は3年以上。耕作していないほ場で農薬や化学肥料を使っていない場合は1年以上。

## Step 4 ⑧ 「おかやま有機無農薬農産物」として出荷 (「おかやま有機無農薬農産物」のマークを付けて出荷) (注)

※この資料(写真を含む)は、例(イメージ)です。この他にも様々な方法(手順)があります。

【注】  
認証を取得し、出荷が始まった後も、栽培記録(記帳)や認証マークの管理が必要です。

### 岡山市高松有機無農薬野菜生産組合みどり会 小若さん (岡山市)

#### Q1 有機農業を目指したきっかけは?

30才を機に東京から岡山にUターンしました。実家は兼業農家で、独立するなら、付加価値の高い「有機農業」での就農を考えました。さらに県の研修制度があることを知り、研修先(※)も実家から近かったため、2年間の研修を経て就農しました。  
※岡山市高松有機無農薬野菜生産組合みどり会 会長 大森英夫氏

#### Q2 就農後の感想は?

自分で作った野菜を「おいしい」と言ってもらえた時は、素直にうれしいです。さらに、みどり会には、同世代の仲間もいて、休憩時間に雑談を交えて、意見交換や相談できることは、楽しくもあり、心強くもあります。  
一方、作業に追われて時間が無いのが悩みです。

#### Q3 今後の抱負は?

面積を拡大し、小さな子どもの口に合う、おいしいおかやま有機無農薬農産物をたくさん作っていきたくて考えています。



みどり会の皆さん  
前列左 大森会長  
前列中央 小若さん

### 星の郷ゆうき無農薬研究会 駒井さんご家族 (井原市)

奥様よりお話を伺いました。

#### Q1 有機農業を目指したきっかけは?

高校生の頃「農業をやろう」と決意し、卒業後アメリカの大学に留学しました。海外の農業を学ぶうちに、「農業をするなら有機農業」という気持ちになりました。  
帰国後は、有機にんじんを栽培する農業法人に就職し、栽培技術を学びました。

#### Q2 就農後の感想は?

実家は非農家なので、農地を借りて就農しました。借りるまで1年ぐらいかかりましたが、自分がやりたかった夢が実現できました。特に収穫時には、達成感があります。また、「次はいつなの(いつ出荷があるの)?」などと、お客さんから声をかけてもらうようになり、もっとがんばろうと思います。現在は、育児にも追われているので、子育てとの両立が課題です。

#### Q3 今後の抱負は?

有機農業をする人がもっと増えて欲しいと思います。



駒井さんご家族

### (株) 城北農産 あいがもファーム (真庭市)

#### Q1 有機農業を目指したきっかけは?

無農薬のお米が欲しいとおっしゃる方がいたので始めました。あいがも農法を始めて35年になりますが、近所の子供やお年寄りが田んぼに行くと、あいがもが寄ってくるので、皆さん楽しんでます。

#### Q2 就農後の感想は?

あいがもを周囲の外敵から守るためのネットや電牧の管理は大変です。しかし、あいがものいる田は草もなくなり、収量も良いので欠かせません。  
令和4年度からネット販売を始め、高値で完売しました。法人でおかやま有機無農薬農産物の認証を受けることで色々な補助事業を実施できるメリットが大きいです。

#### Q3 今後の抱負は?

あいがもを守り収量を多くしたいです。



あいがもファーム  
中 福島代表取締役  
右 谷口取締役

谷口取締役よりお話を伺いました。